

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、ブラジル11月鉱工業生産が前月比▲0.7%と予想を大きく下回ったことを受け、取引開始直後に一時2.70台前半までレアル売りが進行したものの、引けにかけては2.66台前半まで水準を切り下げた。2期目に突入したルセフ政権がLevy財務相主導の下、財政規律の確保に向けて前向きな姿勢を示していることが市場のリスクセンチメント改善に引き続き寄与している。また、7日に公表されたFOMC議事録において、FRBが初回の利上げに関して「今後のデータ次第」との方向性を維持し、利上げ開始に一定の時間をかける考えが明らかになったこともレアルを含めた新興国通貨全般をサポートしている。ボベスパ株式指数は2営業日続伸し、前日比1%高。原油相場が落ち着きを取り戻していることを受けて、ペトロプラス株も年初の下げを取り戻す動きを見せている(前日比5.9%高)。ブラジル議会が今年の予算案を承認するまで裁量支出を抑制する方針であることも材料視されている。

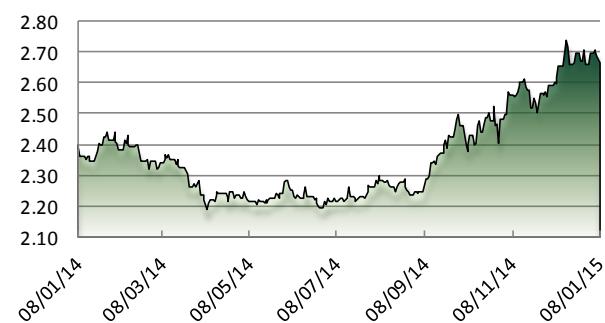
ブラジルマーケットは市場参加者がマーケットへ本格参入を始めた今週、昨年のトレンドを引継ぎレアル売りに傾く時間帯も見られたが、足許ではLevy財務相を中心とした新経済チームに対する期待感から比較的落ち着いた動きを示している。新興国通貨にとって2015年は、「米国の金融正常化に伴い、ドル高がどの程度進行するか」が重要なテーマの1つになると予想され、この観点からも本日公表される12月米雇用統計への注目度は高い。FOMC議事録において、「コインフレ率が現行水準を維持し、将来的に2%へ上昇するとの見通しに確信が持てれば、正常化を開始する」とのコンセンサスが示されていることからも、失業率の低下といった労働市場の継続的な改善が今回確認できるかどうかに注視したい。

マーケットデータ

Indicator	Unit	1月7日	1月8日	前日比	12月8日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	44.45	44.94	+0.49	46.41	-1.47
USD / BRL Spot	BRL	2.6829	2.6625	-0.0204	2.6004	+0.0621
USD / JPY Spot	JPY	119.26	119.66	+0.40	120.69	-1.03
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	49,463	49,943	+480	50,274	-331
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	214.3	209.3	-5.0	175.2	+34.1
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12.34	12.37	+0.03	12.20	+0.17
DI Future Apr16 (金利先物)	%	12.74	12.72	-0.02	12.48	+0.24
3 Months US Dollar Libor	%	0.252	0.252	+0.000	0.238	+0.014
CRB Index (国際商品指数)	Index	225.1	225.9	+0.8	248.1	-22.2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

